

# THE SHOIN TIMES

“Lions Club Youth” - Tuesday, November 06, 2018

## ライオンズクラブ夏期派遣員：生田ひかり

### 5つの都市で奉仕活動

7月19日から8月17日までの約1ヶ月間、東大阪菊水ライオンズクラブ夏期派遣ユースとしてシンガポール、マレーシアのボルネオ島に滞在しました。

生田さんが参加したプログラムは、日本の文化を伝え、奉仕活動をするを目的としてい

ました。1ヶ月という短い期間の中で、飛行機移動6回、5つの都市で5つの家庭にホームステイ、そのようなハードスケジュールで多くの活動に参加した生田さんはどのようなことを感じ、どのようなことを経験したのでしょうか。



### 母国語と英語は当たり前？

今回、2ヶ国の文化を実際に体験しながら比較することができて良い経験になりました。

マレーシアもシンガポールも大きく分けて中国系、マレー系、インド系と三つの人種の方々がおられました。私は中国系とマレー系の家にホームステイをしましたが、ほとんどの人が英語を話してくれました。しかし、

家族同士での中国語やマレー語の会話は全く理解できなかったのですが、様々な言語が一つの国で飛び交うことを初めて体感したことはとても良い経験になりましたし、日本とは違って海外の学生は母国語と英語の二言語をどちらも流暢に話すことが出来たため驚きました。

### グローバルな体験が一生の財産に

マレーシアのテノムで行われた1泊2日のキャンプには現地マレーシア、台湾、日本から来た同年代の学生約70人が参加しました。初めは会話に入るのが大変でしたが、一緒に体を動かしたり、ご飯を作ったりする活動を通して、たくさんの友達ができ楽しかったです。

現地の学校を訪問する機会も多く、各地域で1度は浴衣を着て歓迎パーティーに参加しました。日本の歌やダンスを披露し、その地域の同年代の仲間と交流しバッジを交換し、仲良くなった友人とは今でも連絡を取っています。様々な国の人と話することができる機会は日本に

いるとなかなか経験できない事なので、たくさんの友人ができてとても嬉しく思います。



このような一生の財産になる体験の機会を与えてくださった東大阪菊水ライオンズクラブ、

出発までの事前指導でお世話になった樟蔭の先生方、英語教育センターの先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。



学校法人 樟蔭学園

## 樟蔭中学校・高等学校